

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成

波佐見中学校学校便り

第 21 号

編集・発行

波佐見中学校

校長 池本敦司

全国制覇！全国中学都道府県対抗軟式野球



波佐見中学校から選抜されて出場した選手たち＝校長室にて

11月3日(日・祝)から5日(火)静岡県で全国中学都道府県対抗軟式野球大会が行われ、本校から野球部3年の木村さん、廣瀬さん、堀江さんが県選抜選手として参加し、見事優勝しました。また、堀江さんは

最優秀選手賞(MVP)を受賞しました。

3人の選手に優勝しての感想やその時の心境についてインタビューしました。

Q全国制覇したことを改めてどんなふうに思いますか。

A廣瀬：みんなからおめで

とうと言われた。祝福の言葉がうれしかったです。

A堀江：近所のひとからもおめでとう、すごかったねとありがたい言葉を言ってもらった。

A木村：親の知り合い、お世話になった人からも祝福されてうれしかった。

Q優勝が決まった瞬間の気持ちを教えてください。

A木村：中学で野球を頑張つて良かったと思いました。

A廣瀬：堀江が抑えてくれた！初めて優勝できた。これまでの苦労や大変だったことをすべて忘れるほどうれしかったです。

A堀江：仲間の分まで背負って投げるぞと思っていた。いろんな人に恩返しができ

たと思いました。

Q優勝以外で今大会の中で印象に残っていることを教えてください。

A廣瀬：いつもはガチガチに緊張するのですが、今回はいつもよりは周りが見え



MVPに贈られた記念品「志の鐘」

一言。

A廣瀬：高い目標でもひとつひとつクリアしていけば、その達成も見えると思います。

A堀江：どの部活もそれぞれが集中しなければならぬ場面で集中してやれば目標としているところに行けると思います。

A木村：日頃の学校生活をしっかりとしておくことが大切だと思いました。それによって運もついてくると思いました。

3人とも、普段学校で見せる姿と変わらず、笑顔で私の質問に答えてくれましたが、その背後には、とても大きなことを一つ成し遂げたという自信を感じました。また、これからの自分たちの可能性をしっかりと見つめる姿からは、この大会が3人を大きく成長させたことが伝わってきました。

たくましく成長した3人を見て今後がますます楽しみにになりました。

Q波佐見中学校の皆さんに

校長日記

修学旅行の引率。最後に引率したのはいつだったろうか。おそらく前回波佐見中学校に勤務していた時なので、今から15年程前になる。今回は関西方面の修学旅行▼自分自身が中学生の時の修学旅行も関西方面だった。奈良・京都の旅。奈良は当時としては珍しく、今のような自主研修スタイル。明日香村をオリエンテーリングしたのを覚えている▼途中のどが渴いても、自販機で飲み物を買うのは×。のどがカラカラになりながら歩き回った。「飛鳥大仏のアルカイックスマイル」「東大寺の大仏」「法隆寺」：よりも何より覚えてるのは「ゴール地点の『酒舟石』」で飲んだ水道水。とても冷たく、のどを通して体中にしみわたっていく感覚は今も残っている▼今回の旅行で2年生はどんな思い出が残るのだろう。寒かったU.S.J、大混雑の清水寺、それとも夜の恋バナかな？